

2015年11月28日(土)・29日(日)
国立国会図書館のデータを使い尽くそうハッカソン
(試作品の概要)



♣ アイデアの背景

- はじめのアイデアは「タンゴ」大賞
→よく探された単語を知りたい。
→興味関心を持って探される言葉を知りたい。
- ・・・しかし、実現はなかなか難しい・・・。

♣そこで「タンゴタンゴ」

- 出版物の単語トレンドを時系列で理解する。
- データベースの情報をもとに理解する。



- 頭だけでなく感覚でも理解することを目指す。
 - 単語とフィジカルに戯れる
 - 単語を目で見て感じる
 - 単語を耳で聞いて感じる

♣「タンゴタンゴ」のしくみ

- 単語の数値化。
- 「国立国会図書館のウェブページを使い尽くそう アイデアソン」のアイデアメモの（1-b）「時空間と概念空間2軸で見せる」にもとづいて、目で見、耳で聞く、を目指す。
- 検索結果を、横軸は年代、縦軸は出現回数にしてグラフ化。

♣ 成果



NDLトレンドサーチ

NDLデータからトレンド検索します。

検索

例示：[政治](#) [環境](#) [鉄道](#)

♣ 成果



NDL議事トレンドサーチ

NDL議事データからトレンド検索します。

検索

例示： [金](#) [銀](#) [鉄](#)

♣ グラフ化 目で感じる

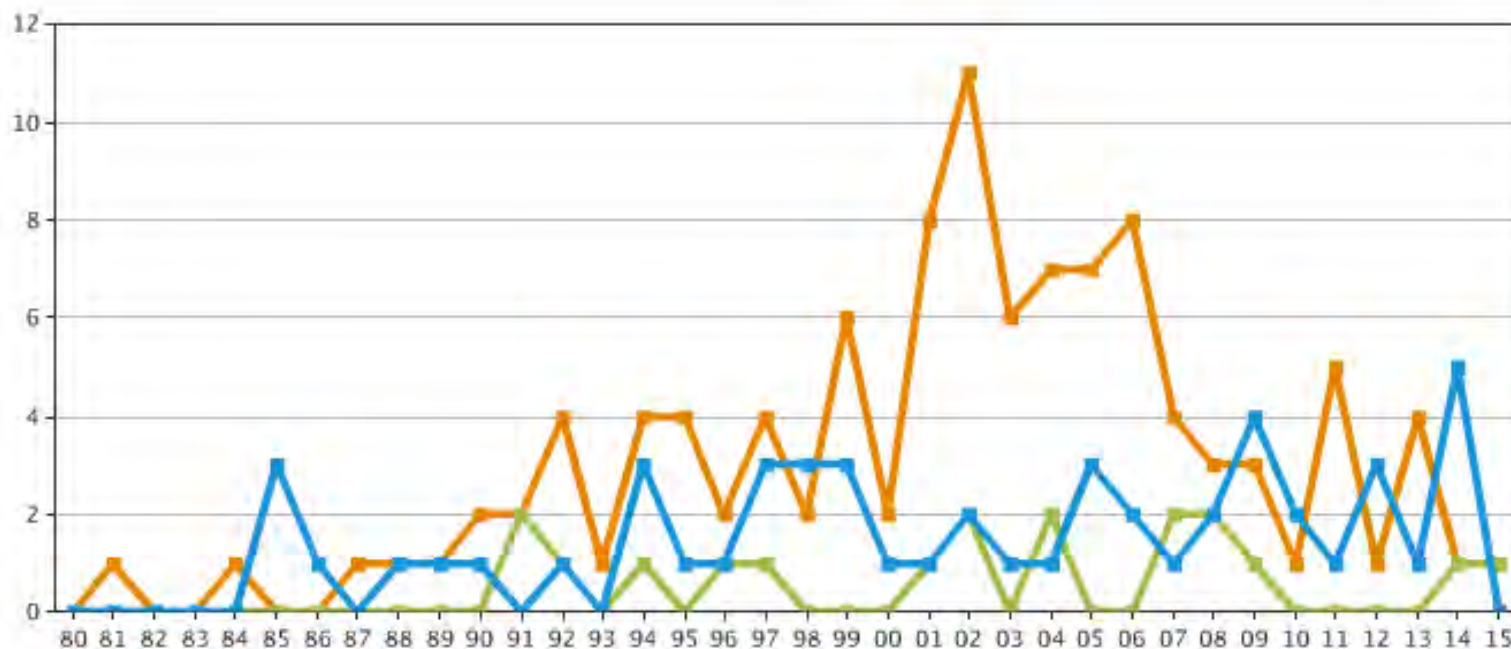


NDLトレンドサーチ

NDLデータからトレンド検索します。

環境 道路 生物

検索



♣ 音声化 耳で感じる

Tango
タンゴタンゴ

東京|埼玉

送信

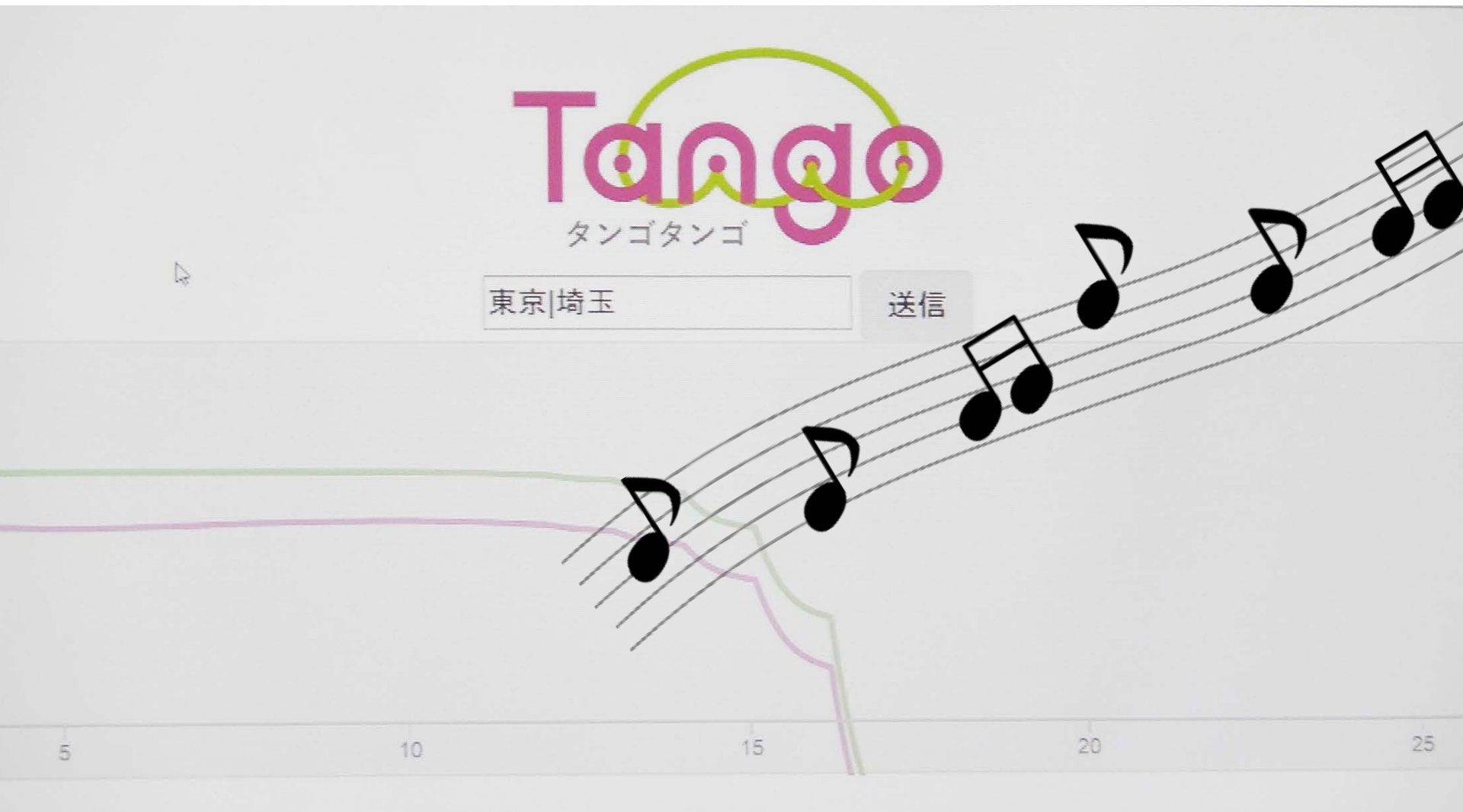
5

10

15

20

25



♣ 今後の「タンゴタンゴ」

- 検索結果の量子化を本格化。
- グラフと音に加えて光の表現も可能に。
- 「タンゴタンゴ」から、検索の組み合わせを工夫した音楽、光の組み合わせ、といった作品が生まれることも期待。
- 音の表現は、単語が持つポジティブな意味、ネガティブな意味などに合わせて音色を変化させたり、和音を与えたりすることも期待。